

平成30年6月30日

大阪府支援教育研究会会員 様  
特別支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 波田 仁宏

( 堺市立家原寺小学校長 )

## ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト合同夏期講座案内(2次案内)

大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト夏期講座を  
下記の要領で実施いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

### 記

1. テーマ 9月からできる支援教育における児童生徒理解と ICT 活用
2. 日 時 8月16日(木)、17日(金) (午前講座:9:30~12:30、午後講座:13:30~16:30)
3. 会 場 大阪府立箕面支援学校  
〒562-0035 箕面市船場東3丁目15番1号  
方法 その1 北大阪急行・大阪モノレール「千里中央駅」より  
阪急バス「箕面」行き、または  
北緑丘団地経由「豊中」行きに乗車 乗車時間は約5分  
「新船場南橋」バス停で下車、北東に徒歩で約800m  
方法 その2 「阪急箕面駅」より  
阪急バス「千里中央」行に乗車 乗車時間は約10分  
「新船場北橋」で下車、東に徒歩で約650m  
方法 その3 「阪急豊中駅」より  
阪急バス 北緑丘団地経由「千里中央」行に乗車 乗車時間は約30分  
新船場南橋」バス停で下車、北東に徒歩で約800m  
**※公共交通機関でのご来場をお願いします。**  
**また、大阪府立箕面支援学校へ電話等での問い合わせや欠席連絡をしないでください。**  
**当日、欠席の場合は、平峰 (090-6055-3405) にご連絡下さい!**
4. 参加費 無料 (ただし、材料費等が必要な講座があります)
5. 定 員 各講座先着順で定員まで受け付け (申し込み状況をHPでお知らせします。)
6. 申し込み 下記申込先まで、以下の内容を明記の上、  
e-mailにてお申し込みください。(必ず**受付受理のメール**を返信します!)  
1) 氏名・所属 2) 連絡先 (e-mail)  
3) 参加希望講座記号 4) 懇親会参加の有無 (16日(木)の講座終了後 開催)  
(※会場予定 千里中央駅近辺のお店  
前日に予約するため**当日のキャンセルはできません。**)  
**受付は、2017年7月3日より開始します!**

7. 申し込み先 平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）  
 問い合わせ e-mail : ict2018※daishienken.visithp.com  
 （※印を@に変えてください） ※問い合わせは、e-mailにてお願いします。  
 ※講座資料をメール添付で送ることがあります。  
 ※yahoo メールで受理メールを送りますので、「受理番号」をご確認下さい。  
 なお件名は「大支援研 ICT 活用夏期講座 問い合わせ」でお願いします。  
 ※会場の大阪府立箕面支援学校に直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。

## 8. 講座について

講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）13：30～16：30で設定しておりますが、講座によっては、開始時刻及び終了時刻が異なる場合があります。

各講座の時間帯（午前・午後）をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

## 9. 講座一覧

記号	講座（講演、講義、PC講座、体験会、教材教具製作） 一日目、16日の講座	16日（木）	
		AM	PM
A	講演「できることを活かすテクノロジー、視線入力もあるよ！」 講師：福島 勇 先生（福岡市立今津特別支援学校 教諭） 会場：音楽室 定員：80名		○
B	講座「雑誌「はげみ」視線入力特集の解説」 ～豊富な実例による視線入力とスイッチを使ったコミュニケーション支援手法の解説～と パネルディスカッション（パネラー調整中） 講師：伊藤 史人 先生（島根大学総合理工学研究科 助教） 会場：音楽室 定員：80名	○	
C	16日教材作り講座 「プログラミングが小学校で必修に！？Scratchでプログラミング体験&クリック教材制作」 講師：竹島 久志 先生（仙台高専教授）、昌浦 堯希 先生、相沢 幸翼 先生 会場：PC室 定員：10名		○
D	16日午前製作講座① 「micro:bitのプログラミング講座～呼び出しスイッチを作ろう～（初級）」 講師：浅田 寿展 先生（元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭） 田中 敏弥 先生（元大阪府立支援学校教諭） （材料費・資料費：5000円） 会場：被服室 定員：15名	○	
E	16日午後製作講座② 「micro:bitを使用したリレー装置の開発～水やり装置を作ろう～（中級）」 講師：浅田 寿展 先生（元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭） 田中 敏弥 先生（元大阪府立支援学校教諭） （材料費・資料費：8000円） 会場：被服室 定員：10名		○

記号	講座（講演、講義、PC 講座、体験会、教材教具製作） 二日目、17日の講座		17日（金）	
	講座名		AM	PM
F	講演「プロジェクションで表現しよう」 講師：高橋 真吾 先生（京都府立向日が丘支援学校 教諭）	定員：40名 会場：音楽室		○
G	iPad 実践講座 「Keynote で教材作成」 講師：根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校 教諭） 要：iPad 持参（Keynote がインストールされていること）	定員：15名 会場：第2音楽室	○	
H	講座「VOCA を使ったコミュニケーションの体験」 講師：根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校 教諭） ※参加型のワークショップ形式の講座です！	定員：20名 会場：第2音楽室		○
I	講座「コミュニケーションが見える！！ペンとメモの ICT」 講師：大石 博司 先生（「相談支援事業所 KS」「じんぶな～」代表） 大前 洋介 先生（神戸市立盲学校 教諭）	定員：10名 会場：図書室	○	
J	実践講座「音声のみで使う iOS and 見えにくいに見える化する iOS」 講師：藤原 一秀 先生（エルピス代表） 森岡 健一 先生、今嶋 善幸 先生、大前 洋介 先生（神戸市立盲学校 教諭） ※iPhone または iPad をお持ちの方はご持参ください！	定員：20名 会場：図書室		○
K	17日教材作り講座 「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作～オートスキャンもできるよ♪～」 講師：竹島 久志 先生（仙台高専教授）、昌浦 堯希 先生、相沢 幸翼 先生	定員：20名 会場：PC 室	○	
L	講座「音楽療法的観点をいかした授業づくり」 講師：塩見 あかね 先生	定員：20名 会場：音楽室	○	
M	17日午前製作講座③「VOCA の制作と活用実習」 講師：金森 克浩 先生、禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生 材料費：1500 円	定員：20名 会場：被服室	○	
N	17日午後製作講座④「玩具の改造と障害の重い子どもへの活用」 講師：金森 克浩 先生、禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生 材料費：1200 円	定員：20名 会場：被服室		○

※詳細がまだ未確定な講座もあります。決まり次第、大支援研 HP に UP します。HP もご確認ください。

10. 懇親会 8月16日（木）の講座終了後、懇親会を予定しております。

（参加費は実費で、会場は当日、会場本部にてお知らせします。

会場は千里中央駅近辺です。）

※当日の参加キャンセルは出来ませんのでご了解下さい。

11. 講座申し込み締切日 7月31日（火）

12. 備考 ※ 定員に満たない講座は、当日参加も可能です。HP の参加者状況をご確認ください。

ただし、準備上の都合がありますので、できる限り、7月末までに事前申し込みをお願いします。

※ yahoo メールで受理メールを送ります。受理番号を必ずご確認ください。

13. 協力団体 ICT 活用プロジェクト夏期講座の開催に当たり、「大阪支援教育コンピュータ研究会」の全面的な支援と協力をいただいています。

#### 14. 大支援研 ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト合同夏期講座 各講座の内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参する物等の記載がございますので、よくお読みください。

問い合わせ e-mail : ict2018※daishienken.visithp.com (※印を@に変えてください)

#### < 16日(1日目)の講座内容&紹介 >

講座 A	16日(木) 午後13:30~16:30	会場: 音楽室	定員	80名
講座名	できることを活かすテクノロジー、視線入力もあるよ!			
講師	福島 勇 先生 (福岡市立今津特別支援学校 教諭)			
内容&紹介				
<p>肢体不自由児は、身体を動かすことに困難さがありますが、どこも動かせない子はいないはずです。そのデキル力を活かす手段の一つがテクノロジーの活用です。しかし、それを有効活用するためには支援者の発想の転換が重要です。ハンズフリー入力装置を含めたスイッチに入力して各種 e-AT 機器を操作することによって学習上の困難さを軽減し、ひいては自立や社会参加を促す考え方を紹介します。(考え方や、方法は肢体不自由児に限らず応用できると思います。)</p>				

講座 B	16日(木) 午前9:30~12:30	会場: 音楽室	定員	80名
講座名	雑誌「はげみ」視線入力特集の解説 ~豊富な実例による視線入力とスイッチを使ったコミュニケーション支援手法の解説~と パネルディスカッション (パネラー調整中)			
講師	伊藤 史人 先生 (島根大学総合理工学研究科 助教)			
内容&紹介				
<p>今年の「はげみ」6/7月号では、去年に引き続き視線入力の特集が組まれました。本講座では、私が寄稿した「視線入力入門2」の19ページ分について、分かりにくい部分を具体的に説明いたします。その他のページについても質問を受けます。参加者のみなさまは、熟読の上「はげみ」を持参くださるようお願いいたします。「はげみ」(平成30年6/7月号)は、日本肢体不自由児協会のWebからご注文ください。 Web : <a href="http://nishikyo.or.jp/products/">http://nishikyo.or.jp/products/</a></p>				

講座 C	16日(木) 午後13:30~16:30	会場: 新館 多目的室	定員	20名
講座名	プログラミングが小学校で必修に! ?Scratchでプログラミング体験&クリック教材制作			
講師	竹島 久志 先生 (仙台高専教授)、昌浦堯希 先生、相沢幸翼 先生			
内容&紹介				
<p>Scratch は、MIT メディアラボが開発したプログラミング学習環境です。ブロック化された命令を並べることで、スプライト(キャラクタ)を動かすなどのプログラミングが小学生でもできます。多数のスプライトや背景が用意されているほか、お絵描き機能も有しているため、オリジナルソフトを作れます。</p> <p>本講座では、サンプルを変更しながら Scratch を使ったプログラミングを学習します。最終的には簡単なゲーム(クリック教材)を制作します。自分の絵や写真を使えばオリジナルのゲーム(クリック教材)になります。</p> <p>◇備考 予め Scratch サイトにアクセスして、<b>ユーザ登録</b>しておいて下さい。</p> <p>[準備] Scratch サイトに登録する。 <a href="https://scratch.mit.edu/">https://scratch.mit.edu/</a> 上部右側の[ Scratch に参加しよう ]を選び、<b>ユーザ名、パスワード</b>を決めて指示に従い登録する。</p>				

講座 D	16日(木) 9:30~12:30 (16日午前制作講座)	会場: 被服室	定員	15名
講座名	micro:bit のプログラミング講座~呼び出しスイッチを作ろう~ (初級)			
講師	浅田 寿展 先生 (元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭) 田中 敏弥 先生 (元大阪府立支援学校教諭)			
内容&紹介				
<p>イギリスで開発されたマイコンボードmicro:bitの初歩的な使い方を学びたい人向けの講座です。マイコンを全く使ったことのない人、電気回路が苦手な方向けです。これからLEDをチカチカしたい、音を出したい、スイッチで何かをしたいと思っている方は奮ってご参加下さい。</p> <p>回路を組むのに、ブレッドボードを使います。はんだ付けはしません。また、この講座では超初心者向け言語「JavaScript (ジャバスクリプト) ブロックエディタ」を使って学習します。</p>				
備考				
<p>■材料費と持ち物:</p> <p>○参加費: 5000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・micro:bit (USB ケーブル付) 2500円</li> <li>・解説書500円 (初めての方へのmicro:bit 基礎講座)</li> <li>・実験セット2000円 (LED、スピーカー、LED、ブレッドボード、当日使用する教本等)</li> </ul> <p>※すでにmicro:bit や解説書をお持ちの方は実験セットのみの購入可です。</p> <p>○ノートパソコン (Windows10) は参加者個人で準備されると後々の学習がスムーズですので、<b>できる限りご持参</b>下さい。(持参できない場合は、こちらで準備します)</p> <p>※Windows10 版「MakeCode for micro:bit」のベータ版をインストールしてきて下さい。  <a href="https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/makecode-for-micro-bit/9pjc7sv48lxc">https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/makecode-for-micro-bit/9pjc7sv48lxc</a></p>				

講座 E	16日(木) 午後13:30~16:30 (16日午後制作講座)	会場: 被服室	定員	10名
講座名	micro:bit を使用したリレー装置の開発~水やり装置を作ろう~ (中級)			
講師	浅田 寿展 先生 (元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭) 田中 敏弥 先生 (元大阪府立支援学校教諭)			
内容&紹介				
<p>重度の障害を持った生徒でも、スイッチを押すと一定時間リレーがONになる制御回路をブレッドボード上に作り、必要なプログラムをmicro:bit に書き込みます。電動ポンプをつなぐと水やり装置となります。</p> <p>「初めてのmicro:bit のプログラミング講座~呼び出しスイッチを作ろう~ (初級)」の受講済み者向けの<b>発展的な講座</b>となります。ただし上記講座を未受講でも、リレーの使い方を知りたい方、ラッチタイマー (スイッチを押すとしばらくON) の簡単なプログラムを作ってみたい方は奮ってご参加下さい。この講座では超初心者向け言語「JavaScript (ジャバスクリプト) ブロックエディタ」を使って学習します。</p>				
備考				
<p>■材料費と持ち物</p> <p>○参加費: 8000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・micro:bit (USB ケーブル付) 2500円</li> <li>・解説書500円 (初めての方へのmicro:bit 基礎講座)</li> <li>・ラッチボックス3000円 (リレー、LED、ブレッドボード、当日使用する教本等)</li> <li>・電動ポンプセット2000円 (電動ポンプ、BD アダプタ、外部スイッチ)</li> </ul> <p>※すでにmicro:bit や解説書をお持ちの方はラッチボックスのみの購入可です。</p> <p>※電動ポンプセット2000円 (電動ポンプ、BD アダプタ、外部スイッチ)</p> <p>○ノートパソコン (Windows10) は参加者個人で準備されると後々の学習がスムーズですので、<b>できる限りご持参</b>下さい。(持参できない場合は、こちらで準備します)</p> <p>※Windows10 版「MakeCode for micro:bit」のベータ版をインストールしてきて下さい。  <a href="https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/makecode-for-micro-bit/9pjc7sv48lxc">https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/makecode-for-micro-bit/9pjc7sv48lxc</a></p>				

## ＜17日（2日目）の講座内容&紹介＞

講座 F	17日（金）午後13：30～16：30	会場：音楽室	定員	40名
講座名	プロジェクションで表現しよう			
講師	高橋 真吾 先生（京都府立向日が丘支援学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>いつも見慣れている教室が異空間に変わる！そんな授業をご紹介します。</p> <p>タブレット端末とプロジェクターを使って音と図形を投影した空間を教室に作り上げます。その空間の中で自分が感じ取ったことを身体で表現するという創造活動の授業を実際に体験して頂きます。</p> <p>当日はぜひ白い服装でご参加ください！</p>				

講座 G	17日（金）午前9：30～12：30	会場：第2音楽室	定員	15名
講座名	iPad 実践講座 「Keynote で教材作成」			
講師	根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>Apple の標準 APP. keynote を使って教材作成をしてみませんか？</p> <p>いつものスケジュール提示など資格提示としての利用に加え、今回は竹島先生を真似て、「まるでスキャンをしているような」教材の紹介もします。皆さんと一緒にアイデアを共有したいと思います。</p> <p>ご自分の iPad や使ってみたい素材などがあれば、ご持参ください。</p> <p>要：iPad 持参（Keynote がインストールされていること）</p>				

講座 H	17日（金）午後13：30～16：30	会場：第2音楽室	定員	20名
講座名	VOCA を使ったコミュニケーションの体験			
講師	根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>特別支援教育において、テクノロジーの利活用は特別なこと、ではなくなりつつあります。</p> <p>今回は参加型のワークショップ形式で、ロールプレイを通して、コミュニケーション手段として利用される支援機器 VOCA について一緒に学びましょう。</p> <p>箕面支援学校にある何種類かの VOCA を紹介して、実際に使っていただきます。</p>				

講座 I	17日（金）午前9：30～12：30	会場：図書室	定員	10名
講座名	コミュニケーションが見える！！ペンとメモの ICT			
講師	大石博司 先生（「相談支援事業所 KS」「じんぶな～」代表） 大前洋介先生（神戸市立盲学校 教諭）			
内容&紹介				
<p>強力な道具は実は「コミュメモ」、「巻物カレンダー」など紙素材。筆記用具による ICT の世界へようこそ。</p> <p>自閉症スペクトラムの方への指導をメモ用紙でとりくみます。大切なのは、こどもを理解し、どのように伝えて、心理的な安心感を与えるか。障害のニーズに応える会社で活躍する講師がコミュニケーションが見える化する技術を紹介します。視覚情報とは何なのかを考えるチャンスです。</p>				

講座 J	17日(金) 午後13:30~16:30	会場: 図書室	定員	20名
講座名	音声のみで使う iOS and 見えにくいに見える化する iOS			
講師	藤原 一秀 先生(エルピス代表) 森岡 健一 先生、今嶋 善幸 先生、大前 洋介 先生(神戸市立盲学校 教諭)			
内容&紹介				
<p>視覚ということ意識したことない方も含め、視覚を補助するおよび視覚を使わない ICT の理解を深めませんか。「読みにくいを補完する ICT」および「視覚を使わない、音声と指のパターン操作を中心とした ICT」を iPhone や iPad に備わっているアクセシビリティとアプリを通して理解していきます。弱視・全盲の当事者講師から指南させていただきます。Phone または iPad をお持ちの方はご持参ください。</p>				
備考				
※iPhone または iPad をお持ちの方はご持参ください! (ボイスオーバー機能を使った体験ができます)				

講座 K	17日(金) 午前9:30~12:30	会場: PC室	定員	20名
講座名	パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ~オートスキャンもできるよ!~			
講師	竹島 久志 先生(仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授) 昌浦 堯希 先生(仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻) 相沢 幸翼 先生(仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム工学専攻)			
内容&紹介				
<p>重度・重複障害児(知的障害を併せ有する重度肢体不自由児)の学習に必要な、スイッチで操作できる教材ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。</p> <p>制作する教材ソフトは、(1)クリック教材(スイッチを押すと画像が変化・音がでる)、(2)選択教材(オートスキャンによりスイッチ1個で選択できる)の2種類です。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで、手軽に教材ソフトが制作できます。</p> <p>前半は、パワーポイントを使ったスイッチ教材ソフトの基本動作をサンプルソフトの制作を通して実習します。後半は、各自オリジナルのクリック教材及び選択教材ソフト制作に挑戦します。使いたい素材(写真、イラスト、音等)があればお持ち下さい。</p>				

講座 L	17日(金) 午前9:30~12:30	会場: 音楽室	定員	20名
講座名	音楽療法的観点をいかした授業づくり			
講師	塩見 あかね 先生(音楽療法士)			
内容&紹介				
<p>さまざまなニーズに音楽をとおしてはたらきかける音楽療法の基本的な考え方を学び、音楽療法的観点をいかした音楽の授業づくりを一緒に考えたいと思います。</p> <p>実際に楽器を使って体験していただきながらおこなう予定です。</p>				

講座 M	17日(金) 午前9:30~12:30 (17日午前製作講座) 会場:被服室	定員	20名
講座名	VOCAの制作と活用実習		
講師	金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授) 禿 嘉人 先生 (東京都立光明学園 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立光明学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭)		
内容&紹介			
ひもスイッチ、おにぎりVOCAの制作と活用のための講義・演習			

講座 N	17日(金) 午後13:30~16:30 (17日午後製作講座) 会場:被服室	定員	20名
講座名	玩具の改造と障害の重い子どもへの活用		
講師	金森 克浩 先生 (日本福祉大学 教授) 禿 嘉人 先生 (東京都立光明学園 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立光明学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭)		
内容&紹介			
光ミニ扇風機、BDアダプター、指スイッチの制作と、活用のための講義・演習。			